

## 第9回日本医療ソーシャルワーク学会「研究発表」発表演題募集のご案内

平成30年9月15日～9月16日に開催予定の第9回日本医療ソーシャルワーク学会において、研究発表の演題発表者を募集いたします。現場のMSWが日々取り組んでいる実践を広く主体的に発表していく場として活用いただきたいと思います。ぜひ、奮ってご応募ください。

- 1 発表日：平成30年9月15日(土)
- 2 資格：日本医療ソーシャルワーク学会の会員(共同研究者はこの限りではありません)
- 3 発表内容：医療ソーシャルワークの実践・研究に関すること
  - ① ソーシャルワーク実践
  - ② 退院支援
  - ③ 業務改善
  - ④ 地域活動
  - ⑤ その他※発表は未発表のものに限ります。
- 4 方法：口頭発表のみ
- 5 発表時間：1演題につき発表10分以内、質疑応答5分程度。
- 6 申し込み方法
  - ① 大会ホームページから申込用紙をダウンロードして、鹿児島大会研究発表担当までメールにてお申込みください。
  - ② 大会への参加申し込みも行ってください。
  - ③ 申し込み締切は7月14日(土)です。採否のお知らせは、7月末までに連絡させていただきます。また抄録原稿の締切は8月15日(水)です。研究発表担当者より詳細をご連絡いたします。
- 7 その他：
  - ① 日本医療ソーシャルワーク学会にて内容を審査し採否を決定後に連絡いたします。申し込み多数の場合、ご発表頂けない事ありますので、予めご了承ください。
  - ② 発表者についても大会参加費は各自でご負担となりますのでご了承ください。

鹿児島大会研究発表担当 仁愛会病院 地域連携室 MSW 白川  
鹿児島県鹿児島市南栄5丁目10-19  
TEL 099-210-0201  
FAX 099-210-0203  
メールアドレス jin-msw@jinaikai.com

第9回日本医療ソーシャルワーク学会 研究発表申込書

平成30年 月 日

発表者氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_

共同研究者 \_\_\_\_\_

連絡先(自宅・勤務先) \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

発表テーマ \_\_\_\_\_

発表内容(案内3項 内容①～⑤で該当する番号をご記入ください) \_\_\_\_\_

研究目的 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

研究発表 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

倫理的配慮 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

結論(まとめ) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

同様のテーマでの発表履歴 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

平成 30 年 月 日

様

日本医療ソーシャルワーク学会  
第 9 回 鹿児島大会  
大会長 廣野 拓  
(公印省略)

### 抄録原稿について (依頼)

謹啓 時下ますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは当会における研究発表にお申込みいただき、誠にありがとうございました。  
つきましては、抄録作成にあたり原稿のご執筆を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。  
詳細につきましては、下記要領となります。何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

締切日 : 平成 30 年 8 月 15 日 (水)

概 要 : 1) 原稿枚数・文字数  
A4 横書き 2 段組み 1 枚、1,800 字程度 (引用文献、図表等を含む)  
2) 抄録作成の注意事項(別紙参照)

提出方法 : 下記アドレスに E-mail にて送信願います。

E-mail アドレス [jin-msw@jinaikai.com](mailto:jin-msw@jinaikai.com)

メール本文にテーマ、氏名、連絡先の記載をお願いします。

データを送る事ができない場合は、データを保存した CD-RW を下記までご郵  
送下さい。(CD-RW は返却致しませんのでご了承ください)

<問い合わせ先> 研究発表担当

〒891-0122

仁愛会病院 地域連携室 MSW 白川

TEL 代表 099-210-0201

FAX 代表 099-210-0203

E-Mail : [jin-msw@jinaikai.com](mailto:jin-msw@jinaikai.com)

別紙

## 抄録作成の注意事項

### ■書式

- ・本文は2段組みとし、1,800字（全角24字×38行×2段）程度とする。
- ・本文の文字サイズは11ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。
- ・図、表を挿入する場合、レイアウトは自由だが、論述の根拠となるデータを厳選し、図、表の文字、数字は判別可能なものを挿入すること。
- ・写真、図、表は白黒の写真製版で判別できる明瞭なものであるか確認すること。

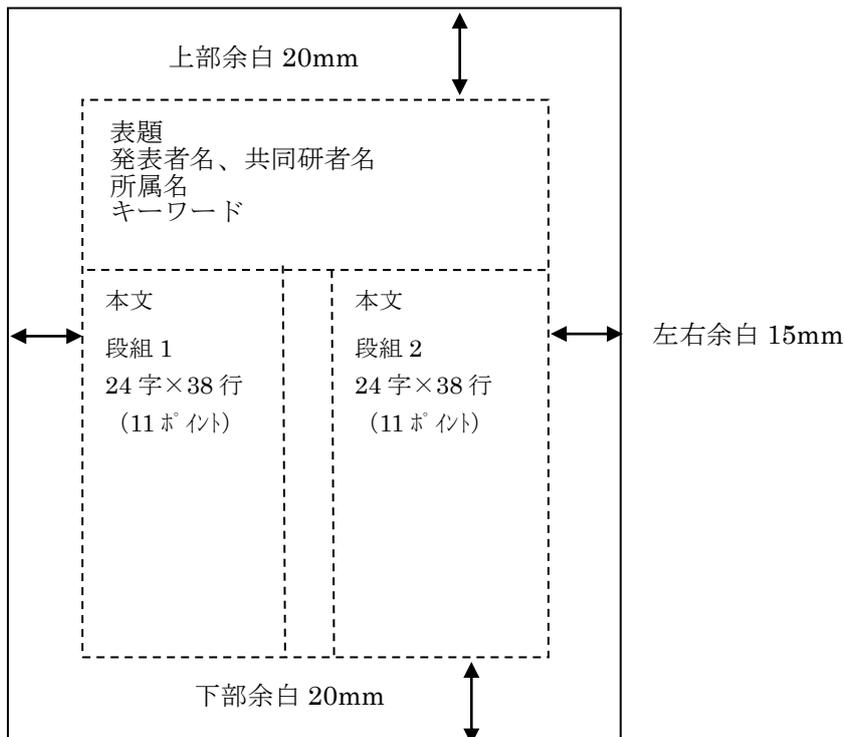
### ■上部に一段組みで表題、発表者名、共同研究者名、キーワード（抄録内容を表す重要な語句を3～5個）を入力

- ・表題（14ポイント）
- ・発表者名（12ポイント）、共同研究者名（9ポイント）
- ・所属名（9ポイント）
- ・キーワード（9ポイント）

### ■余白

- ・上部下部余白 20mm
- ・左右余白 15mm

《見 本》



## 日本医療ソーシャルワーク学会鹿児島大会

### 研究発表等で事例を取り扱う際の注意事項

発表者は下記の注意を遵守し、個人情報に十分配慮の上、発表を行うこと

- ① 事例における利用者等の氏名、住所、利用施設、援助者等の氏名、所属先名称等の固有名詞は原則として無作為のアルファベットで表記し、個人等が特定されないようにする。
- ② 利用者等の生年月日を記載する必要がある場合には生年までとする。
- ③ 事例作成のために利用者の個人情報を収集する場合は、目的を明確にしたうえで必要最低限にとどめ、収集した情報は慎重に扱う。
- ④ 事例を発表で用いる場合には、原則として患者本人の同意を得る。
- ⑤ 発表者は、事例を発表することについて、原則として所属施設（機関）の上司等に承諾を得ておく。

#### 参考、引用

「厚生労働省 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」

「公益社団法人日本社会福祉士会 会員が実践研究会等において事例を取り扱う際のガイドライン」

「公益社団法人日本医療社会福祉協会 研修部」

日本医療ソーシャルワーク学会鹿児島大会実行委員会